

指定校番号	28105	学級活動	児童会・生徒会活動	○	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	熊野町立熊野中学校	校長	米谷 剛	生徒指導主事	前田 大輔
-----	-----------	----	------	--------	-------

**取組事例名 『心の交流会』**

**取組のねらい『キーワード おもてなしの心でつくる異年齢集団』**

- 熊野中学校の伝統を引き継ぐ。
- 3年生が職場体験学習や修学旅行等で学んだ接遇について、1・2年生に伝える。
- おもてなしの心を全校生徒と保護者が共有することで、集団として温かい雰囲気をつくる。

**取組の具体的内容『キーワード 生徒、保護者、教員が協力』**

- 年度当初の4月に行われるPTA総会の日に、中学校のグラウンドで生徒、保護者、教員で協力して、昼食にバーベキューを行う。
- メンバー構成は、1年生は各クラスを9グループ、2・3年生は各クラスを6グループに分け、縦割りの異学年集団とし、それらの保護者と担当教員とする。
- PTA役員と3年生が2校時に準備をし、1・2年生は授業とする。
- 開会行事、閉会行事の運営は生徒会とし、各グループの運営は3年生とする。
- 後片付けは全員で行う。



**取組の課題・創意工夫『キーワード 1年間を見据えた異学年集団』**

- 全校生徒でバーベキューを行うので、準備、片付けがとても大変であるが、生徒、保護者、教員が協力することで、心の交流会を成功させようと努力する。
- 心の交流会で編成したグループを活用して、全校遠足や体育祭など1年間の学校行事に取り組む。
- 3年生が前年度の職場体験学習、修学旅行で学んだ接遇やおもてなしの心を、1・2年生や保護者に表す。
- 1・2年生は3年生を見て、見本となるべき先輩の姿を明確にする。

**取組の成果（効果）『キーワード 3年生が引っ張る熊野中学校』**

- 10月に実施した生徒アンケートの「学校に行くのは楽しいです」の質問に85.3%、「学校でみんなと一緒に活動するのは楽しいです」の質問に92.6%が肯定的な回答をした。
- 10月に実施した保護者アンケートの「子どもを安心して学校に通わせている」の質問に92.3%、「学校教育に関心を持ち、協力したいと思っている」の質問に78.1%が肯定的な回答をした。
- 3年生はリーダーシップを発揮することで、最高学年としての自覚と責任が芽生えた。
- 1・2年生は3年生の姿を見て、手本となる最高学年の姿を明確にした。

- 生徒、保護者、教員が協力し、一つの行事を成功させることで、信頼関係を築くことができた。
- 今年度は学年により、学級数が異なっていたので、縦割り集団の編成について苦慮していたが、基本となる集団が出来上がった。
- 生徒主体で行事を成功させることで、特に3年生は自信をもち、企画、運営する力が身についた。
- 遠足、体育祭、文化祭等、学校行事すべてにおいて、3年生がリーダーシップを発揮している。

#### **今 後 の 展 開『キーワード 継続』**

- 卒業式は、1・2年生が3年生に対して感謝の気持ちを伝える。
- 3年生の手本となる姿を1・2年生が引き継いでいく。
- 次年度も心の交流会を3年生主体で進めていく。
- 3年生主体となるために、保護者・教員が全力で支援していく。

#### **他校へのアドバイス『キーワード 最初・準備が肝心』**

- 生徒主体と言えど、保護者や教員が指導や援助をしないと、行事は成功しない。事前に生徒と打ち合わせを行うなどしっかりと準備し、何をどのようにすればよいか、生徒に対する指示を明確にしておく。
- 年度当初に1年後の理想の姿をイメージさせることで、学校全体で良いスタートを切ることができる。
- 成功体験をもたせることが、生徒の自信につながっていく。